

翔鸞小学校沿革史



翔鸞の由来(創立百周年記念誌より)

翔鸞の由来については詳らかではないが、中国の『初学記』の書中に中国の神鳥とされる鳳凰の雄を鳳、雌を凰、その雛を鸞と記されているそうである。つまり、鳳凰の子ども雛鳥(鸞)が成長して、大空に飛翔することである。本校の子どもたちが、教育によって生き生きと発展していく姿を言い表したものであろう。

また、平安京の大極殿応天門の回廊の一端にそびえた翔鸞楼の名をとったという説もある。命名者は、槇村正直知事であると言われる。

地域の特色

校区には学問の神様菅原道真を祀ってある北野天満宮、千本釈迦堂として知られる大報恩寺、上七軒などの名所・旧跡を含み、歴史と伝統を感じさせる地域である。北野天満宮の中には、梅園のほかにも秀吉が造った「お土居」の一部が残されている。今も尚、伝統的な行事が生活の中に息づいている。

また、古くから『西陣織』の盛んな地域として知られ、現在でも路地を入ると、あちこちから機織の音が聞こえてくる。

正門から校舎への石畳は、今は見られなくなった、京都の市電の敷石を貰い受けて敷き詰めたものである。

沿革の概要

【明治】	2年 9月 1日	本校創立 上京第三番組小学校として創立 〔元誓願寺通り七本松東入ル大文字町〕
	34年 4月 1日	2ヵ年程度の、高等小学校を併置
	41年 4月	高等小学校を廃校 (尋常小学校の修業年限が、6ヵ年に延長されたため)
	11月	現在地に移転
【大正】	7年 11月 18日	創立 50周年記念式挙行
	12年 4月	高等科を併置 「翔鸞尋常高等小学校」と改称
	14年 10月	翔鸞教育会を設立
【昭和】	16年 4月	「翔鸞国民学校」と改称

20年 3月	太平洋戦争のため、与謝郡岩滝村及び石川村に集団疎開
22年 4月 1日	「京都市立翔鸞小学校」と改称 学制改革に伴い、翔鸞中学校を併設
23年 4月 15日	翔鸞育友会発足
24年 3月 31日	京都市立衣笠中学校新設により、翔鸞中学校を廃校 翔鸞・衣笠・柏野の3小学校をもって通学区域を決定
32年 10月	翔鸞教育後援会結成
44年 11月 1日	創立百周年記念式挙行
49年 10月 7日	本館改築（鉄筋2階建）竣工
61年 5月 18日	体育館完成
【平成】 元年 9月 1日	120周年創立記念式典挙行
6年 4月 1日	京都市教育委員会健康教育推進指定校
9月	京都市教育委員会学校ルネッサンス事業指定
7年 4月 29日	翔鸞地域文化センター開設
10月 6日	京都市学校名木百選に3本が選ばれる
8年 2月 23日	京都市教育委員会健康教育推進指定校研究発表会実施 学校コミュニティープラザ事業 北野・衣笠ゾーン開設
8月 1日	平成8年度 京都府健康優良学校として受賞
9年 1月	京都市教育委員会フロンティアスクール推進事業指定（～10年度）
9年 4月	京都市教育委員会「総合的な学習の時間」に関わる調査研究委託校
11年 4月	京都市教育委員会「読書奨励実践推進事業」研究指定（～12年度）
12年 4月	京都市教育委員会「総合的な学習の時間」に関わる実践研究指定（～13年度） 育成学級設置
14年 4月	「21世紀の学校づくり」推進事業推進校指定（～15年度）
15年 4月	文部科学省「学力向上フロンティアスクール事業」指定
16年 4月	京都市教育委員会指定「みやこ学校創生事業」
17年 4月	文部科学省「学力向上フロンティアスクール事業」指定
18年 1月	京都市教育委員会指定「みやこ学校創生事業（パイロットスクール）」指定 運動場改修工事～3月
18年 4月	京都市教育委員会指定「みやこ学校創生事業（パイロットスクール）」指定
19年 4月	京都市教育委員会指定「みやこ学校創生事業（パイロットスクール）」指定
20年 3月	学校運営協議会発足 文部科学省「コミュニティスクール調査研究校」指定 流水池完成
20年 10月	北校舎耐震工事～21年8月
21年 3月	文部科学省「コミュニティスクール調査研究校」指定
22年 4月	平成22・23年度京都市学校保健会健康教育推進校指定
23年 3月	北校舎西側給食室渡り廊下を拡張修繕
23年 11月 26日	平成23年度学校保健・学校安全優良校として表彰される

24年 4月	平成24年度京都市教育委員会防災モデルスクール事業実施校指定
12月 28日	緊急地震速報システム設置
25年 5月	環境に配慮した長寿命化校舎改修工事（北校舎・本館）着工
25年 11月	長寿命化校舎改修工事完了
26年 8月	給食室西側木枠窓・防球ネットをスチール製窓・柵に改修